

～廃校へはい行こう！～

班 員：金原かのこ 岡 楓 二宮叶多
濱田 貴哉 坂嶋寛太
指導者：宇都宮正多

●理由

地域課題

- ・人口減少
- ・廃校増加
- ・少子化

☆人口減少に伴い、廃校が増えている。



現在の廃校を有効活用した活動が行われているところが少ない。

☆廃校が増えると考えられる中で、廃校を活用した活動は、増えるのか。



現在の廃校での活動の知名度は低い。

☆せっきく廃校を有効活用しているのにもったいない。

このことから…

- ・幅広い年代の人が「行ってみたい」と思ってもらえるような廃校での活動があったらいいのでは。
- ・足を運んでみたいと思えるような活動をすれば、観光客が増えたり宇和島の魅力を伝えられたりするのでは。

と考えたから

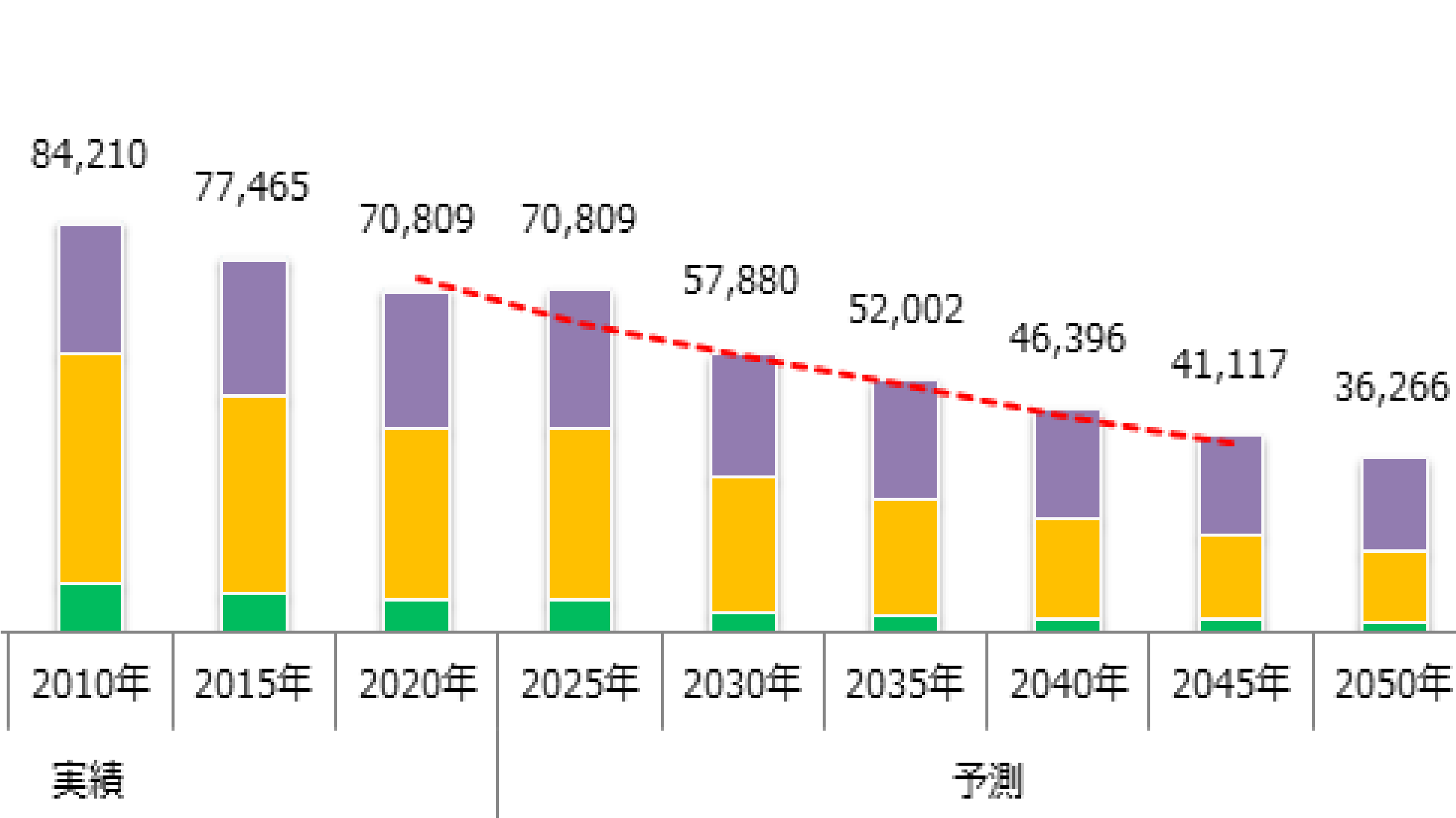
●研究の背景

・人口について

宇和島市の人口は、2015年から2025年にかけて約7千人ほど減少している。

(2015年→約7万7千人 2025年→約7万人)

そして、2030年には約5万7千人、2040年には約4万6千人、2050年には約3万6千人にまで減少すると予測されている。



・閉校や生徒数について

2021年度末時点では小学校9校 中学校1校が閉校している。

宇和島市の小学生全員 令和5年度 2,871人

宇和島市の中学生全員 令和5年度 1,325人

小学校の場合、複式学級になったり、1学級の人数が15人以下や生徒数が60人以下、30人以下になったりすると廃校になる。



・現在の廃校を利用した活動

シェアハウス・オフィス・グランピング・サウナ施設などや若者のキャリア教育や地域活性化を目的としたイベントやワークショップの拠点としても利用されている。

●仮説

- ・廃校を利用してイベントや行事を実施することで、廃校を地域住民だけでなく、様々な場所から人が集う場所にすることができるのではないか。
- ・行事を通して愛媛の魅力を伝えることで、地域課題の一つである人口減少にも効果があるのではないか。

●今後の課題・取組

「廃校で東高校主催のイベントをひらく。」

自分たちが主催することによって、自分たちのしたいことが自由にできたり、新しいことに挑戦したりすることができる。

→新しい発見や地域課題の解決策が見つかるかも？！

「イベントを開催する際のポスター制作。」

イベントを開催する際、ポスターで事前にイベントについて知ってもらうことで、より多くの人に訪れてもらうことができる。

→新しい出会いがあるかも？！

SNSをしていない人には知るきっかけになる。

～廃校へはい行こう！～

皆さん、楽しいが詰まった廃校に一度足を運んでみませんか！

イベント内容

- ・キッチンカーや宇和島東高校で商品開発された商品
- ・輪投げやお菓子まき
- ・スタンプラリー
- ・縁日
- ・フォトスポット
- ・ボッチャやモルック
- ・東高校の地域探究の紹介(絵本など)



開催時期

- ・長期休み
- ・土日や祝日や三連休



だれでも参加オッケー
お待ちしております！

大歓迎
宇和島東高校
生徒一同

ポスター内容の詳しい説明

①イベント内容

幅広い年代の方に楽しんでもらうため、年齢層にあったイベントやどんな方でも楽しめるイベントをする。
利点 誰もが気軽に足を運べていろいろな年代の人が楽しめることで、友達や知り合いに紹介して広まるということにつながる。

②開催時期

利点 休日に行くことで平日よりも足を運びやすいと考えた。